



鈴木まさと

活動通信第13号

発行 2022年4月
鈴木まさと後援会



陽春の頃、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、鈴木まさと後援会への日頃のご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染の第7波が心配されていますが、基本的な感染対策を徹底しつつ社会機能の維持にご協力をお願いいたします。一方で、ロシア連邦によるウクライナ軍事侵攻には日々心を痛めており、浜松市議会においても非難決議を行いました。早期の終結を願うばかりです。任期4年目となりますが、今後も皆さまのご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

まさとの報告

令和4年度当初予算を可決

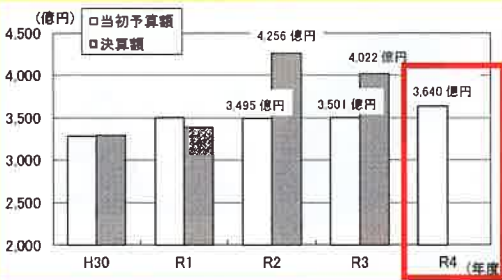
令和4年度当初
予算の概要 →



3月24日の第1回浜松市定例会最終日に、上程された令和4年度当初予算案ならびに条例案等を可決しました。

戦略計画2022重点テーマのサステナブルな(持続可能な)地域社会の創造に向け、政令指定都市移行後最大規模の一般会計3640億円(前年比139億円増)の予算規模となっています。

一般会計当初予算額の推移



歳入: 市税が前年比122億円増、地方交付税が前年比20億円増を見込んでいる一方で、臨時財政対策債は97億円減を見込み、市財政の健全経営のための財政調整基金は50億円の取り崩しとなっています。持続可能な浜松市とするためにも歳入面も注視していきます。

歳出: 子育て・教育では、スマホから24時間365日利用できる保育相談サービスのため保育チャットボットの導入事業、放課後児童会の待機児童ゼロを目指した取組み、子どもの貧困対策のための「浜松市子ども未来応援基金」の創設、関係機関の相互連携を強

化し、把握・発見を確実にする体制の構築に向けたヤングケアラー研修推進事業。デジタル化の推進では、行政手続きのオンライン化推進事業。AI導入による交通事故の要因分析を活用した効率的な危険対策箇所の対策推進事業など、他にも直面する多くの課題に対応するための予算となっています。



建設消防委員会

今後は予算の執行状況を注視するとともに、行政がさらにすべきことを意見・提言していきます。

まさとの注目ポイント

いじめ問題第三者委員会条例の制定
本条例は、いじめ防止対策推進法に基づき設置するいじめ問題第三者委員会について必要な事項を定めるものであり、市民文教委員会での審査では、会派委員から、第三者委員会の公平性・中立性が極めて重要と意見を主張してもらいました。とはいえ、最も大切なことは、皆がお互いを尊重し、いじめの無い学校にすることだと思います。

スケートボードパーク調査事業 舞阪乙女園公園にセクション設置

昨年9月の一般質問で取り上げたスケートボードで遊べる環境整備に向け、市内の都市公園における利用環境整備に関する調査が行われます。また、舞阪乙女園公園には、マニュアルパッド等のセクション(用品)が設置されます。
子どもたちが各自の目標をもって遊ぶ(取り組む)環境が整備され、浜松の魅力に繋がることを期待します。

水巻寮教職員住宅改築事業

一昨年9月の一般質問で取り上げた佐久間町の水巻寮教職員住宅が今年度に改築されます。これまでの風呂・トイレ共用から各部屋に個別に設置され、住環境の大きな改善に寄与すると思われれます。
供用は令和5年度の予定です。【水巻寮改築イメージ図】



ご意見・ご質問は 鈴木まさと まで

鈴木まさと 携帯 090-3565-1811

メール genki.suzukimasato@gmail.com

私も出来る
SDGs →



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収へ



「家庭ごみ有料化」の前に、やるべきことがあるのでは？

現時点は、市が指定したごみ袋を製造販売価格で購入
(私も勘違いをしていましたが、家庭ごみ有料化ではありません)

現在のごみ袋

(単純指定袋制度)

市が袋の規格を指定し、事業者が製造・販売(ごみ処理費用は含まれない)

45lのごみ袋 約10円

家庭ごみ有料化した場合

ごみ袋にごみ処理費等の一部を上乗せ
ごみ袋の価格 = 製造費 + 流通経費

+ ごみ処理費等の一部

1l = 1円を想定すると

45lのごみ袋 45円



2020年7月に、①一般廃棄物処理基本計画の計画値が達成出来ていないこと、②包括外部監査でごみ減量化の手段の一つとして検討すべきと意見があったこと、③国からの廃棄物処理施設整備の交付金の交付要件に家庭ごみ有料化の検討が求められたことから、環境審議会に諮問。

2021年10月、浜松市環境審議会から、6つ配慮すべき事項と合わせ「家庭ごみ有料化はごみ減量の有効な施策の一つである」と答申が出された。

この答申を受けて、2月から家庭ごみ有料化の検討状況の説明動画を公開し、意見を募集。同時に市内8会場にて説明会が開催されました。

私も、東区、中区、北区の3会場の説明会に参加。そこでは、「これまでもごみ減量化に協力。今すぐ有料化ではなく、ごみ減量化の努力をすべき」、「雑がみを含め資源物を定期的に回収する仕組みが必要」、「広く市民に周知が必要」などの意見があり、他では、「ごみを沢山出している人がその分の処理費は負担すべき」、「幼児用や高齢者のおむつごみ等に配慮すべき」、「有料化になると不法投棄の増加が心配」など多くの意見がありました。現在、市民からの意見を集約し、行政にて検討している段階にあります。

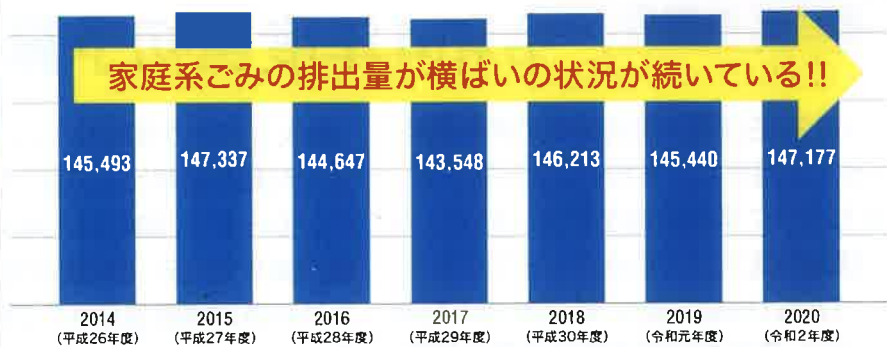


北区での説明会

家庭系ごみ排出量の推移

※もえるごみ・もえないごみ・連絡ごみの合計

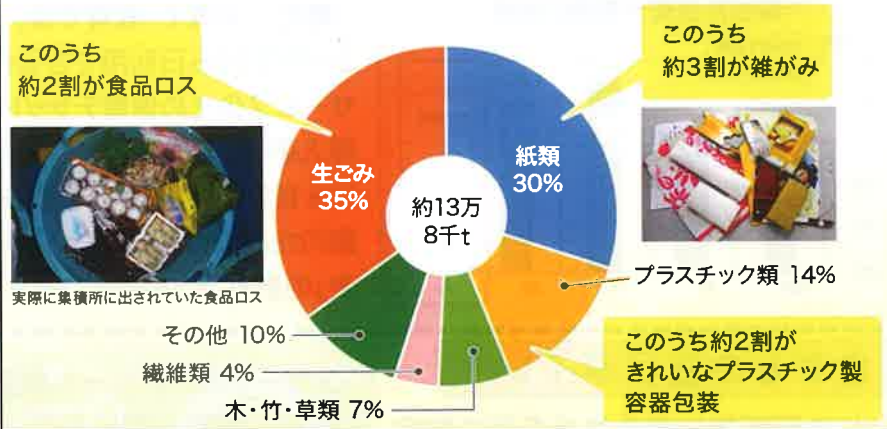
単位(t)



家庭系ごみの排出量が横ばいの状況が続いている!!

家庭系ごみの排出量は横ばい(説明動画抜粋)

もえるごみの内訳



家庭から出るもえるごみの内訳(説明動画抜粋)

まさとの提言

家庭系ごみの排出量やもえるごみの内訳は右図の状況であり、ごみ減量化のために、食品ロス削減や雑がみ回収などまだ出来ることがあります。

現在でも、多くの団体による資源物回収等に加え、雑がみ回収、古紙、小型家電等のリサイクルを実施していますが、さらなるごみ減量化のため、ごみ減量・資源化の取り組みをもっと広く市民に周知し、協力してもらうことが必要と考えます。

また、西部清掃工場・えこはまが実施している雑がみで回収できない防水加工紙容器の回収や家庭用使用済みのハブラシ回収の新たな取り組みを市民に広め、協力をお願いすることを通じてごみ減量化を市民一人ひとりが考える機会とすることが重要と考えています。



協働センター等で雑がみを回収

新たな取り組み(実証実験中)



紙容器リサイクル
ヨーグルト・アイス
クリーム容器
→段ボール原紙に

家庭用ハブラシの回収
→植木鉢に再生



鈴木まさと(鈴木真人)プロフィール

豊西小学校、笠井中学校、浜松北高等学校、東京工業大学卒業、

2018年12月ヤマハ発動機株式会社退職、2019年4月市議会議員に初当選 /会派：市民クラブ

ご意見・ご質問は 鈴木まさと までお願いいたします。

電話 090-3565-1811 FAX 053-434-2826

mail: genki.suzukimasato@gmail.com

鈴木まさとFB→

市民クラブHP→

